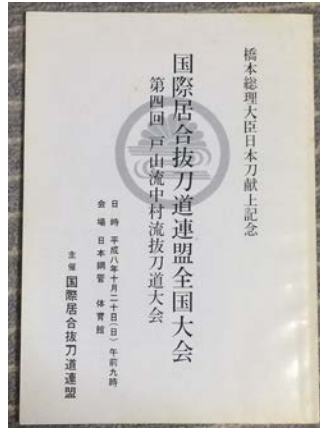




従来も大会は山形で「中村流抜刀道大会」として開催されていた。今大会で二十三回目である。



そして、日本刀を献上した記念として、平成八年十月二十日、「橋本総理大臣 日本刀献上記念」「第一回国際居合抜刀道連盟全国大会」が開催され、これが第一回大会であり現在に継続されている。

「第一回国際居合抜刀道連盟大会」は鶴見の日本钢管体育館で、参加者三段以下三十三名、四段以上三十八名計七十一名であった。種目は現在と同じ四種目である。参加剣士もこの当時は他流派も多く、下げ緒、帯刀、納刀等バラバラであったが、現在ほど厳しい基準もなく実施された。判定は第一回大会から点数制で行われた。この大会で鶴誠会から三段以下七名、四段以上十三名の計二十名であった。残念ながら今残っているのは四名である。

第一回大会ということで特別演武が十一組と多く盛大に行われた。無双直伝英信流、劍舞、夢想神傳流、笠間示現流、無雙直伝英信流、刀対銃。そして我が連盟の戸山流、中村流、組太刀、宗家の八方斬りであった。宗家中村泰三郎先生はこの時八十四歳、現役バリバリであった。一時間にも及ぶ各先生方の素晴らしい特別演武であった。



館野先生



熊谷先生



陳先生



高野先生



佐藤先生



大会自体は現在と変わっていないと思う。私は、この大会で四段以上試斬の部で優勝することができた。この時五十六歳。若かった、懐かしい。そして今回、国際抜刀道連盟の大会は、二十回を迎えたのである。先人の教えを正しく伝承していくのが我々の役目であり、これからも回を重ねていくのには皆さんの協力が重要です。国際抜刀道連盟の発展のため会員一同のご協力をよろしくお願い致します。



中村泰三郎宗家先生



中村憲三先生



大河原先生 vs 本間先生